

HANDS

Kokura Memorial Hospital

65

2016

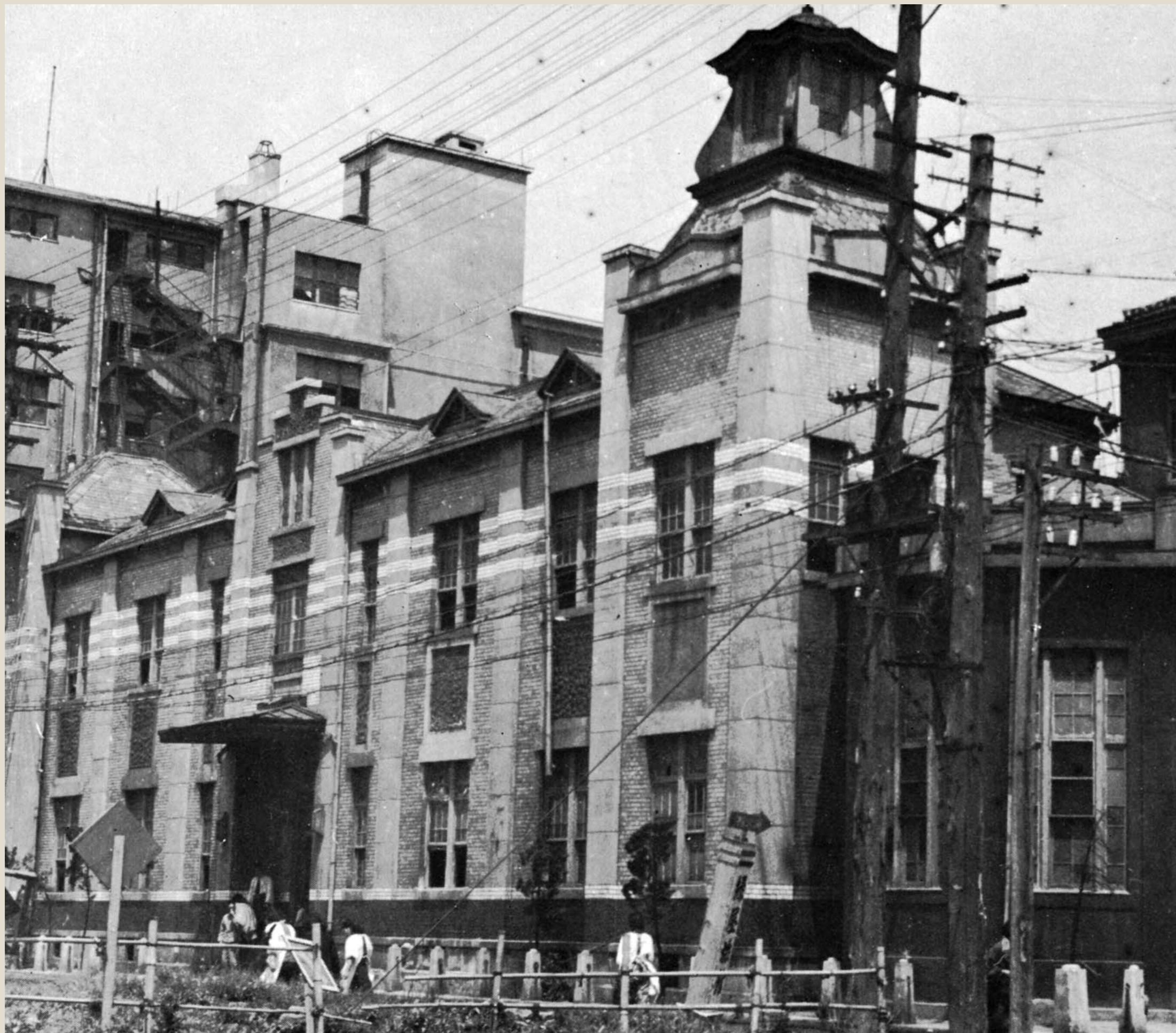


いつもの暮らしに、いつものあなた
小倉記念病院

〒802-8555 北九州市小倉北区浅野3丁目2番1号 TEL.093-511-2000(代表) 小倉記念病院

TEL.093-511-2062(医療連携課) FAX.0120-020-027(医療連携課) FAX.093-511-2032(救急室)夜間・休日における救急患者の情報のみ

【表紙】足立山頂より小倉の街並みを望む。(1966年)



100周年を迎えて

大切な人と過ごす、一生懸命働くといった日常がある場所に、健康や命を守る医療がしっかりとあるということは、安心して暮らすための要因のひとつです。医療は地域社会に欠かせないものなのです。安心して暮らすことができる、そんな幸せな地域づくりに貢献したいという思いで100年に渡りこの小倉の地で医療を提供してきたのが私たち小倉記念病院です。これまで永く積み重ねてきた人・技術・精神・信頼といった財産を大切に、これからもずっと、そしてこれまで以上に、地域に必要とされる小倉記念病院であることを目指します。

1916

私立小倉記念病院を創立



1955
職員による運動会の風景



1956
高松宮妃殿下 ご视察



1949
本庄一夫が世界初の脾臓全摘出術に成功



1962

若戸大橋完成記念に出向いた松岡謙之介院長

1961

検診車「記念号」を導入



1966

九州でもっとも早く開設された脳神経外科の手術風景



1973

心臓血管外科 伴敏彦(現 名誉院長)の手術風景



1970

貴船町の新病院にて記念植樹をされる副島謙院長



1980s
小児科病棟で行われたクリスマス会



1980s
子供達と触れ合う看護師



1980s
栄養管理課の調理風景



1980s
放射線科の検査風景



1980s
眼科外来の診察風景



1981

日本初の延吉正清(現 名誉院長)による冠動脈形成術
(写真は35mmシネX線装置で冠動脈造影を行う延吉正清)

100周年記念連携会



小倉記念病院 名誉院長
延吉 正清



小倉記念病院 名誉院長
伴 敏彦

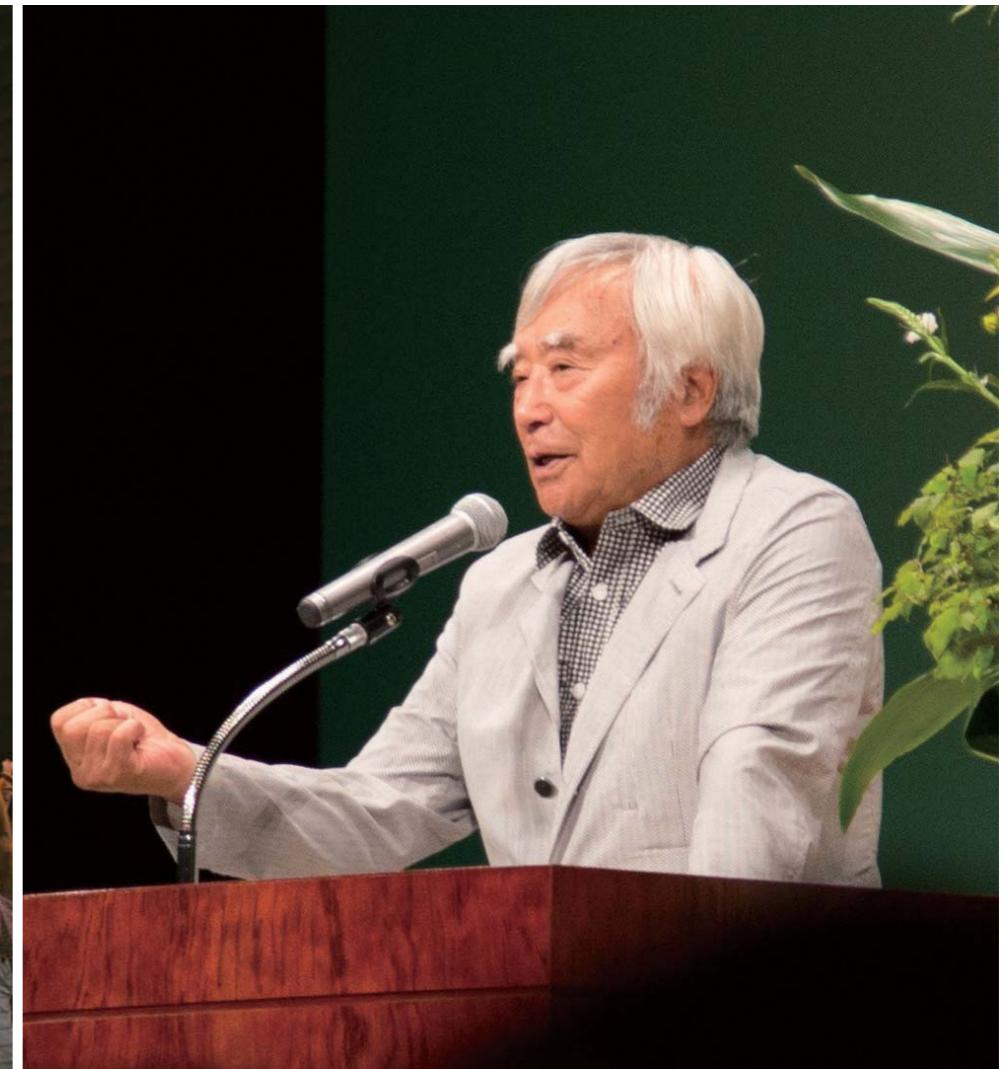
にもお越しいただき、心臓病センターを立ち上げられた時のお話しや、日本初の心臓カテーテル治療に挑戦された当時の懐かしいエピソードなどもお話しいただきました。日々進化する医療において、スピード的に柔軟に果敢に取り組まれたお姿、人に寄り添う思いやりのある医療、地域医療機関との強い連携など、伝統ある擧を受け継いだと再認識することができました。

これからも地域医療機関と密に連携して、個々の患者さんに最適な医療を提供できる連携体制を整えるために、「顔の見える連携」を進めて参りたいと思います。

当院は、平成5年に北九州でいち早く診療連携室を発足させ、病病連携・病診連携を深め、常に開かれた病院を目指して参りました。今回の創立百年を記念した第14回医療連携会には、地域医療機関から約470名の方々にご参加いただき、この百年間の感謝の気持ちをお伝えするとともに、地域の先生方と活発な意見交換を行うことができました。会のなかでは病院長の永田から、昔の小倉市街の街並みや大正5年の折尾駅、昭和44年の紫川沿いの風景などをスライドで紹介させていただくと、当時を懐かしむ声を多くいたいただきました。

市民公開講座

100周年 特別記念講演



「もっと自由に歩ける人生を」
送るために、まず足があること、
自由に動く足を持つこと、負荷
に耐えられる体を維持すること、
と、継続して歩ける足にするこ
と、歩こうとする意欲を保つこ

決めたこともあり、それまでの
道のりも伺うことができました。
今後も地域の方々が健康で
豊かに暮らしていくよう、市
民公開講座の取り組みを続け
て参ります。

7月23日に、地域の方々にこの100年間の感謝の気持ちを込め、「もっと自由に歩ける人生を」と題し、北九州芸術劇場大ホールにて100周年特別市民公開講座を開催いたしました。

特別ゲストとして、2013

年80歳にてエベレスト登頂に成功され、世界最高年齢登頂記録を更新されたプロスキーヤーでもあり冒険家でもある三浦雄一郎先生にお越しいただきました。約1,500名の地域の方々にご応募いただき、北九州芸術劇場大ホールがほぼ満席の状態でスタートとなりました。

当院からは循環器内科部長曾我芳光が専門分野でもある末梢動脈疾患について講演し、

と。そのための生活習慣や食事、運動方法や心の持ち方について市民の方々へ講演いたしました。

三浦先生からは「人生はいつも今から～80歳エベレスト登頂～」についてご講演いただきました。エベレスト登頂という命懸けの挑戦を前向きに明るく取り組んでいく姿が、とても印象的でした。いくつになんでも可能性・希望・夢を持ち続ける大切さは、ご参加いただいた多くの市民の方々に伝わったようです。

最後の三浦先生・永田病院長・曾我部長のトークショーは、ちょうど前日に三浦先生が校長を務めるクラーク記念国際高等学校が通信制高校としては初めて夏の甲子園出場を



この度、100周年を記念
し八幡東区にあります
1913年創業の「ごとう醤
油」様と、体に優しい調味料シ
リーズを共同開発いたしまし
た。商品名は、地域の方々が
ずっと健康でいてほしいという
願いを込め「100年ごはん」と
名付けております。当院管理
栄養士の監修のもと、健康面へ
の素材のこだわりはもちろん、
美味しさも満足していただける
ものに仕上げています。

心臓に優しい しいたけポン酢

しいたけは、血液中のコレステ
ロール上昇を抑える効果があり
ます。血液をサラサラにし、心
臓の負担緩和に有効な食材で
す。玉ねぎ酢をブレンドし、極め
て減塩かつ豊かなしあげの風
味を出すために、小倉南区水
晶山で井上さんが栽培する原
木椎茸を使用しています。

脳に優しい ブルーベリー醤油

減塩した醤油に、脳の酸化
を抑え記憶力の衰えを防ぎメ
モリーフードと称されるブルー
ベリーをブレンド。フルーツやデ
ザートにも合う醤油に仕上げ
ました。甘酸っぱい夏の味をお
届けするために、平尾台の麓
で壱岐路さんが丹精込めて
作ったブルーベリーを使用して
います。

腎臓に優しい 小倉牛ドレッシング

腎機能が低下すると、タンパ
ク質の摂取を制限する必要が
あります。低タンパク食でもお
肉を食べる感覺を味わっていた
だくために、小倉南区の畜産
農家、奥田さん・佐野さん、柳
野さんの育てた北九州ブランド
「小倉牛」のビーフエキスを使用
しています。



次の100年に向かって

小倉記念病院は歴代院長のもと、地域の中核病院のひとつとして発展し、平成28年6月に創立100周年を迎えることができました。

これもひとえに地域のみなさんや近隣医療機関の先生方をはじめとする各関係機関からのご支援をいただいたおかげであり、改めて深く感謝いたします。

昨今の医療情勢は、高齢化社会の影響もあり大変厳しい環境になっております。これらに対応すべく、医療機関の機能分化、病診連携、在宅医療の充実などが進められて参りました。このような情勢下においては、更なる病病連携、病診連携、在宅医療の連携強化と地域との密な連携が求められます。今後も、小倉記念病院は質が高く、やさしい急性期・高度医療が提供できるように努力いたします。

そのためにも、経営基盤を安定させながら、資源を有効活用して職員の幸せが患者さんや地域の幸せにつながるという信念のもと、地域社会にさらに貢献できる人財(材)を育成し、患者さんや地域に信頼される病院を目指していくことが私の使命だと思っております。一人ひとりの職員が知識の向上や技術を研鑽できる職場環境を整えることが高いモチベーションを保つことへ繋がり、ひいては患者さんへレベルの高い良質な医療を提供できるものと考えております。

今年、皆様のおかげで創立100周年を迎えることができましたが、更に気を引き締めて、次の100年に向け確実に進歩していくよう日々研鑽して参りたいと思います。

これからも、小倉記念病院をどうぞよろしくお願ひいたします。

永田 泉

